

フェローシップ・次世代プロジェクト生対象 新次世代プロジェクト説明会

未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えた
フロントランナー育成プロジェクト

2024(令和6)年3月29日(金) 12:00~13:00
於オンライン(Zoom)



(1) 新次世代プロジェクトについて：概要

- ・ 新次世代プロジェクトの実施形態
- ・ 新潟大学でこれから育成する博士人材像
- ・ 遵守事項
- ・ 移行後のユニット及び実施項目
- ・ 支援内容および事業体制

(2) 実施に関するQ&A

(3) 今後の予定等

(4) 質疑応答



(1)

新潟大学

新次世代プロジェクト
について

2024(R6)年4月から新しい博士支援事業が始まります（「新」次世代プロジェクト）。

～2024(R6)年3月

科学技術イノベーション
創出に向けた
大学フェローシップ事業
(現フェローシップ事業)

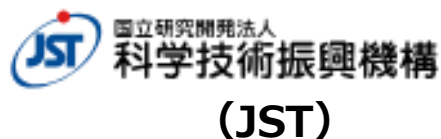
次世代研究者挑戦的
研究プログラム
(現次世代プロジェクト)

2024(R6)年4月～

次世代研究者挑戦的
研究プログラム
(「新」次世代プロジェクト)

2024年4月以降は、「現フェローシップ生」及び「現次世代プロジェクト生」は、全員「新次世代プロジェクト生」となります。

2024 (R6) ~



令和6年度次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
~ 博士後期課程学生の挑戦を支援する ~

採択

実施報告

中間評価
継続判断※



未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えた
フロンランナー育成プロジェクト (= 新次世代プロジェクト)

実施
支援提供

参加
成果報告

支援学生



※ 中間評価の結果、経費の削減や中止の措置もあり得る。
(JST SPRING公募要領より)

<https://www.jst.go.jp/jisedai/dl/application-guideline-2024SPRING.pdf>

JST 事業概要（HPより）

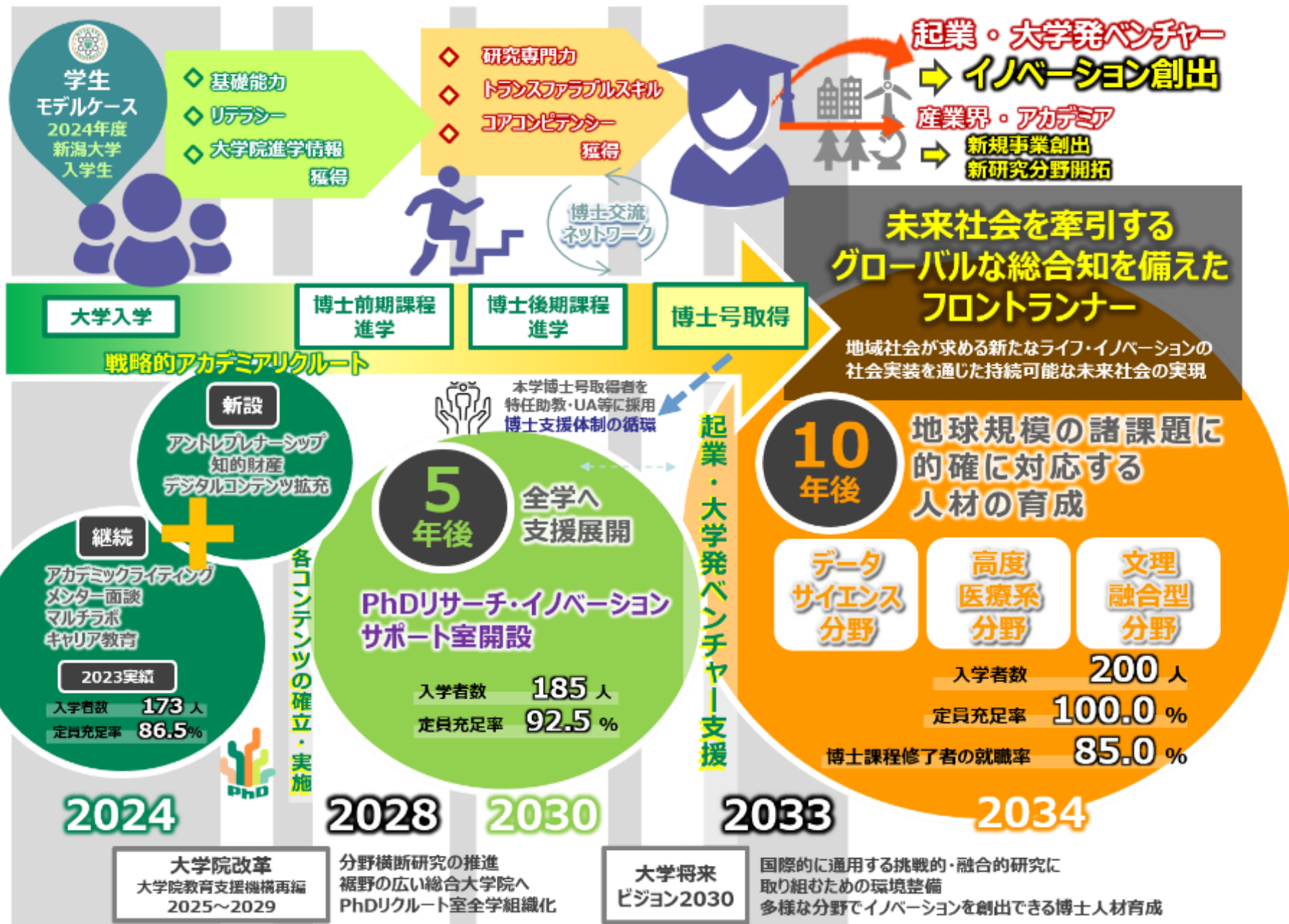
博士後期課程学生は、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配である」等の理由により、修士課程から博士後期課程への進学者数及び進学率がいずれも減少傾向にあるなど、危機的な状況が指摘されています。

すなわち、①我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進めることに、一刻の猶予もなくなりつつあります。また、このような現状に至る背景の1つとして、我が国の博士課程教育システム自身が、社会のニーズの変化を踏まえた戦略的な変革を十分に進められていないという構造的な課題があり、その結果、既存の枠組みを越えた挑戦的・融合的な研究も生まれにくくなっていることなども指摘されています。

本事業は、このような状況を打破するため、上記の①や②を一体として主体的に行う実力と意欲のある大学について、新たに大学の研究科や研究室など既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程学生の選抜等を行う事業統括を選定し、そのリーダーシップのもと、当該博士後期課程学生に対する様々な支援を実施・展開する大学の取組を国として支援するものです。

事業統括により選抜された優秀な博士後期課程学生は、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念し、あわせて当該博士後期課程学生に対しては、生活費相当額及び研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性の涵養、学際性の涵養、キャリア開発、トランスファラブルスキルの習得、インターンシップ等）をはじめとする様々な支援が提供されます。

新潟大学でこれから育成する博士人材像



- (1) **申請した研究計画を踏まえた研究活動に専念** すること。
- (2) **キャリア開発・育成コンテンツに参加** ※1 すること。
- (3) **博士学生交流会** ※2 に参加すること。
- (4) 年度始めに **研究計画書**、年度末に **研究成果報告書** を提出すること。
- (5) **メンターによる面談** を定期的に受けること。
- (6) **Researchmapに登録し、業績を更新** すること ※3、
及び修了後10年以上に渡って実施する
キャリアについての追跡調査を始め、各種調査に協力 すること。
- (7) **各種研究法令及び学内規程等を遵守し、
研究インテグリティ（研究の健全性・公正性）の自律的な確保** ができること。

※1 選択ユニットにより必須となるキャリア開発・育成コンテンツは異なる（後述）。

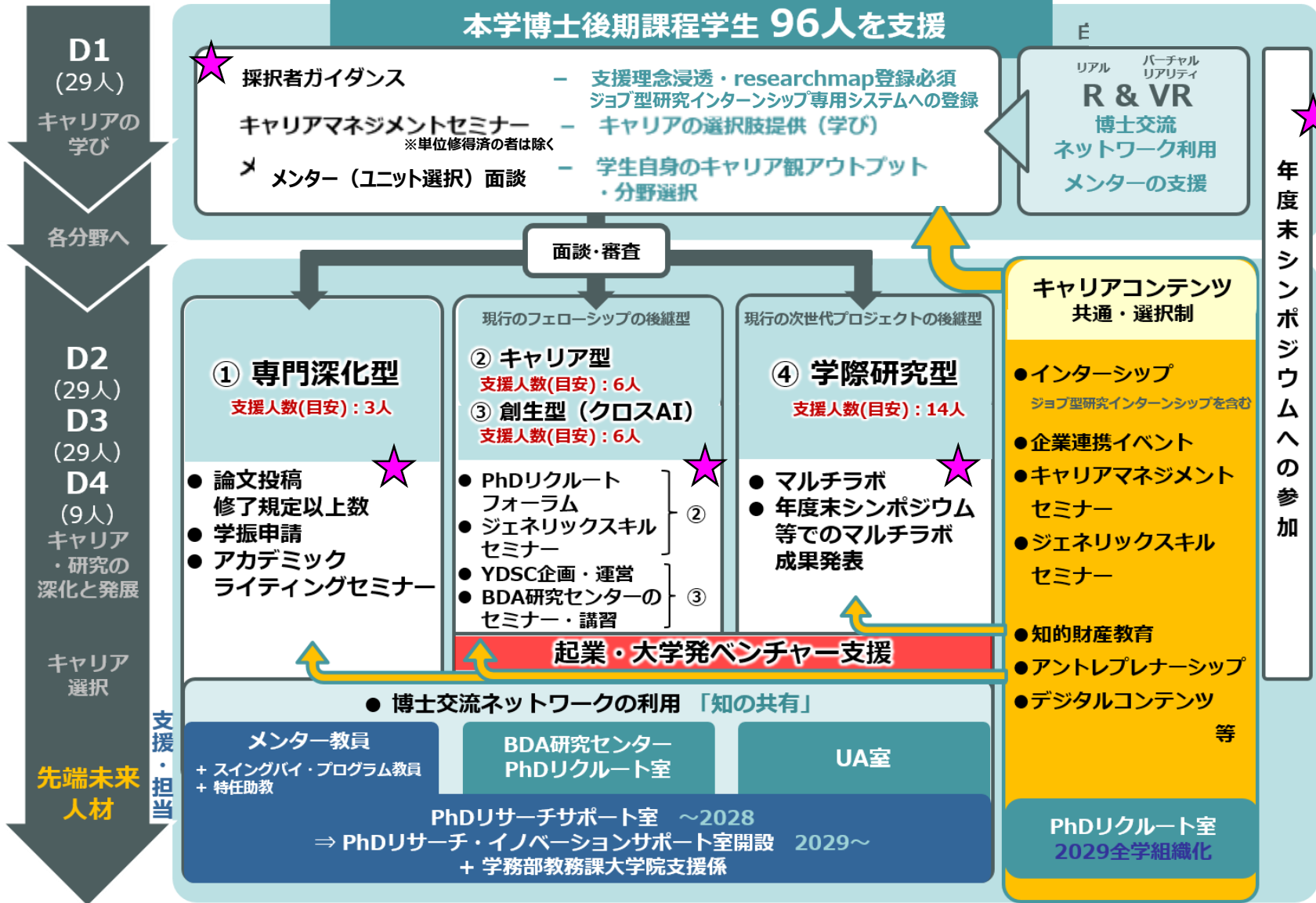
※2 博士学生が大学横断的に交流を行う交流会。宿泊を伴う可能性もある。

※3 フェローシップ事業・現次世代プロジェクトから移行する学生の登録及び業績更新は任意だが、積極的な登録を推奨する。

※R6年度採用者から適用

★白背景：必須

※2年次以降に採用された者(申請条件(2)・(3)の者)が取り組む必須の活動等については別に定める。



キャリアコンテンツ
共通・選択制

- インターシップ
ジョブ型研究インターンシップを含む
- 企業連携イベント
- キャリアマネジメントセミナー
- ジェネリックスキルセミナー
- 知的財産教育
- アントレプレナーシップ
- デジタルコンテンツ 等

PhDリクルート室
2029全学組織化

2024 (R6) 年度～

現フェローシップ生 ②キャリア型 へ 現次世代生 ④学際研究型 へ

必須の活動は R5年度までと同様です

D2

D3

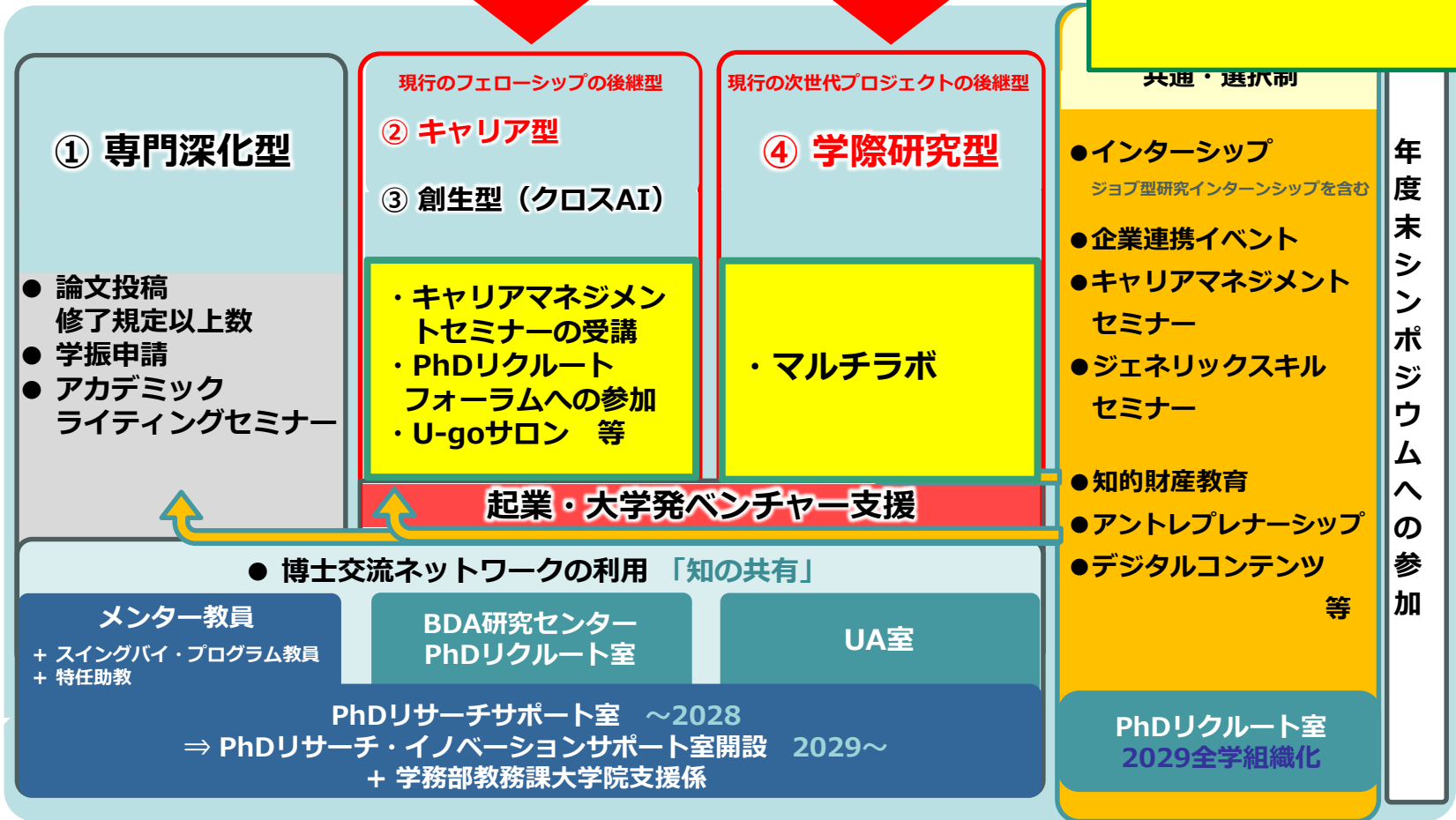
D4

キャリア・研究の
深化と発展

キャリア
選択

先端未来
人材

支援・担当



支援内容

(1) 生活費相当額 月**17.5万円**を2ヶ月毎に支給する。 ※

(2) 研究費 (年額) 次のとおり支給する。

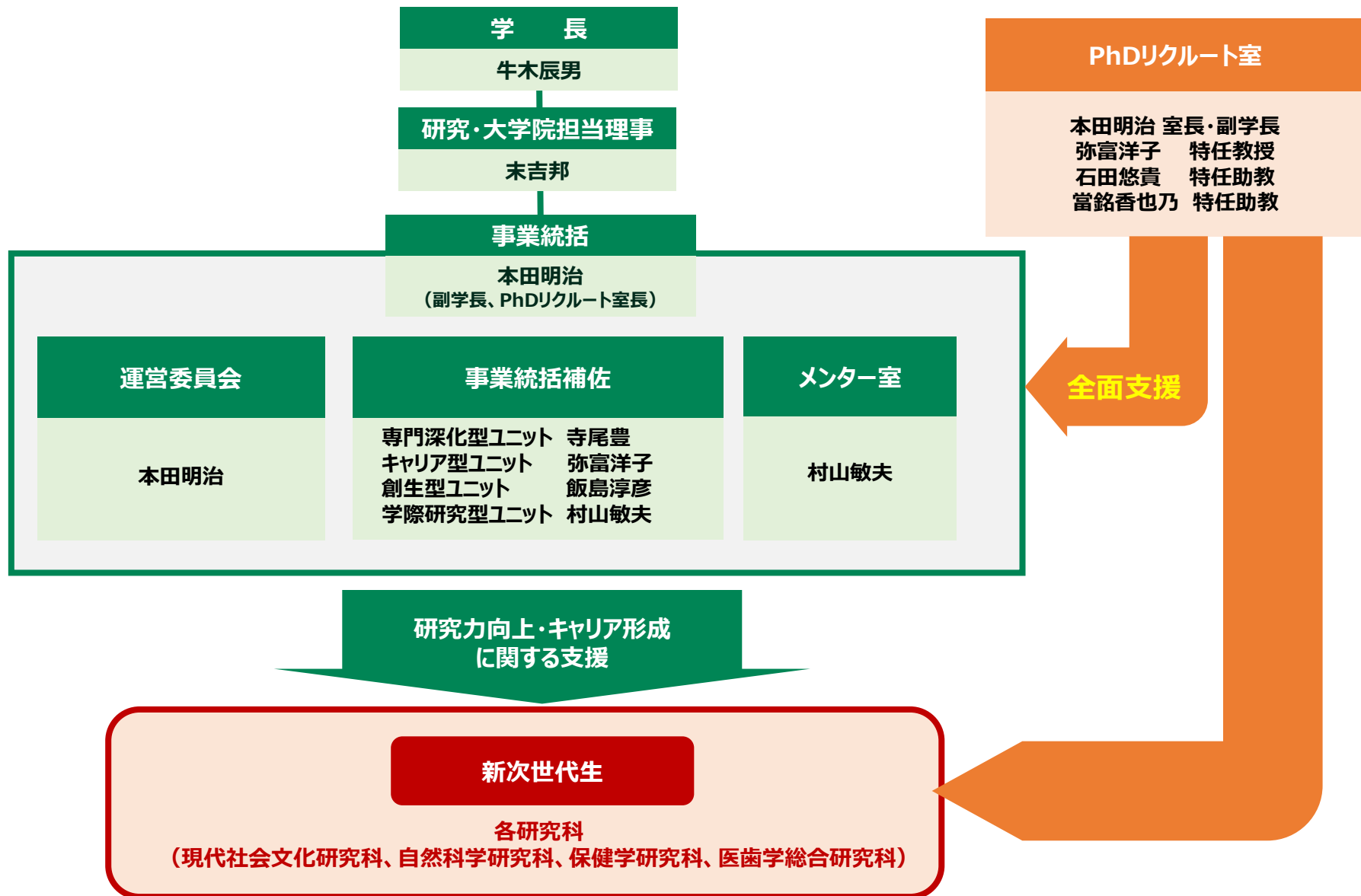
初年次 (共通メニュー時)	:	20万円	
2年次以降 ①専門深化型ユニット	:	20万円	
②キャリア型ユニット	:	20万円	現フェローシップ生
③創生型ユニット	:	30万円	
④学際研究型ユニット	:	40万円	現次世代生

ユニット間の移動を希望する方については別途ご案内します。

(3) メンターによる研究環境支援及びアカデミアまたは産業界への
キャリア形成に関する助言や提言

(4) PhDリクルート室によるジェネリックスキル獲得のためのセミナー等、
キャリア開発・育成コンテンツの提供

※ 本制度では、授業料の免除は支援内容に含まれません。
授業料の免除を希望する方は、新潟大学独自で実施する授業料免除および
徴収猶予制度へ各自お申込みください。



新次世代プロジェクト担当教職員（運営チーム）



研究・大学院担当理事
副学長

末吉 邦



自然科学系教授・副学長
PhDリクルート室長

本田 明治



医歯学系
教授

寺尾 豊



PhDリクルート室
特任教授

弥富 洋子



自然科学系教授
工学部副学部長

飯島 淳彦



人文社会科学系
准教授

村山 敏夫



キャリア支援

PhDリクルート室
特任助教

富銘 香也乃



**キャリア支援
研究支援**

PhDリクルート室
特任助教

石田 悠貴



研究支援

経営戦略本部UA室
URA

永島 伸多郎

(2)

実施に関するQ&A

Q&A掲載ページ
よくご確認ください。



<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/shinzisedaipj/qa/>

(3)

今後の予定等

本日の説明会 (3/29 (金))



「確認票」提出 (4/5 (金) 提出締切)

「R5年度研究報告書・R6年度研究計画書」提出 (4/19 (金) 提出締切 (予定))



研究費使用開始

研究奨励費 (生活費相当額) の支給



研究活動／メンター面談／
研究力向上・キャリア開発・
育成コンテンツへの取り組み 等



年度末シンポジウム (3月頃)

研究報告書提出 (3月下旬)

使用開始可能日、支給日については
後日連絡します。
JSTの採択通知が大幅に遅れたことから、
例年よりも遅れる可能性があります。
ご了承ください。

【問い合わせ先】

新潟大学次世代研究者挑戦的研究プログラム事務局 (学務部教務課大学院支援係)

E-mail : nu-jisedai@gs.niigata-u.ac.jp